

景観まちづくり おおみなと臨海公園の景観形成について



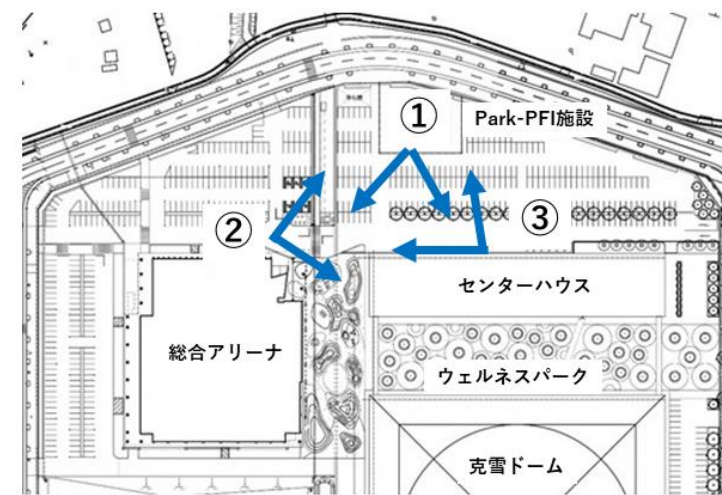
自然風景、施設空間のデザイン性、そこで生まれる人の賑わいをおおみなと臨海公園での良好な景観として形成し大切にしていきます。

新たな景観形成

おおみなと臨海公園から見える「釜臥山・陸奥湾」の豊かな自然景色と、「総合アリーナ・ウェルネスパーク・Park-PFI・芝」の施設空間が見せるデザイン性が調和し、「スポーツ・イベント・寛ぎ」など人の動きや賑わいがさらにおおみなと臨海公園の魅力向上させ、一体性のある良好な景観形成を図ります。

各施設から見えるイメージ

- ① Park-PFI施設側から見た総合アリーナとウェルネスパーク
《コンクリート・柱=グレー系(モノトーン色)》
《アリーナ金属屋根とセンターハウス金属外壁=シルバー系》
- ② 総合アリーナ側から見たウェルネスパークと Park-PFI施設
《金属外壁=シルバー系(モノトーン色)》
《ドーム天幕と外壁上部=白系》
- ③ ウェルネスパーク側から見た総合アリーナと Park-PFI施設
《エントランス(木目調外壁及びタイル)=木柄と黒系》
《白い柱と外壁上部=白系》



各施設の特徴



ウェルネスパーク

- ・克雪ドーム周辺にはコンクリート柱が配置され、白い幕天井と全面ガラス張りとなっている。
- ・トレーニングを行うセンターハウスはモノトーンな金属外壁とコンクリート柱が特徴的。
- ・中央部にハルニレの植栽スペースが配置されている。



総合アリーナ

- ・エントランス部分では明るい雰囲気の大階段が配置されている。
- ・ラウンジホールは天井まで全面ガラス張りの開放的な空間となっている。
- ・建物上部はかまぼこ型で、シルバー系金属鋼板が使われている。



Park-PFI施設

- ・エントランス部分は木柄の外装材とモノトーン色の床タイル、手摺りが配置されている。
- ・ウェルネスとのスポーツジムとしての共通イメージを持たせるため、内観の黒を外壁に取り入れている。
- ・建物上部の白はアリーナ、ウェルネスの白イメージを踏襲。

施設や空間デザインの考え方

各施設から他の施設を見た時に共通する外観イメージや各施設を特徴づけるポイントカラーを取り入れることで、一体性と統一感に配慮された空間を創出し、公園空間における景観の調和を形成しています。



自然風景とスポーツ施設の溶け込み合いにより見せる光の数々が「ひかりのアゲハ」をさらに輝かせていく。



ウェルネスパーク



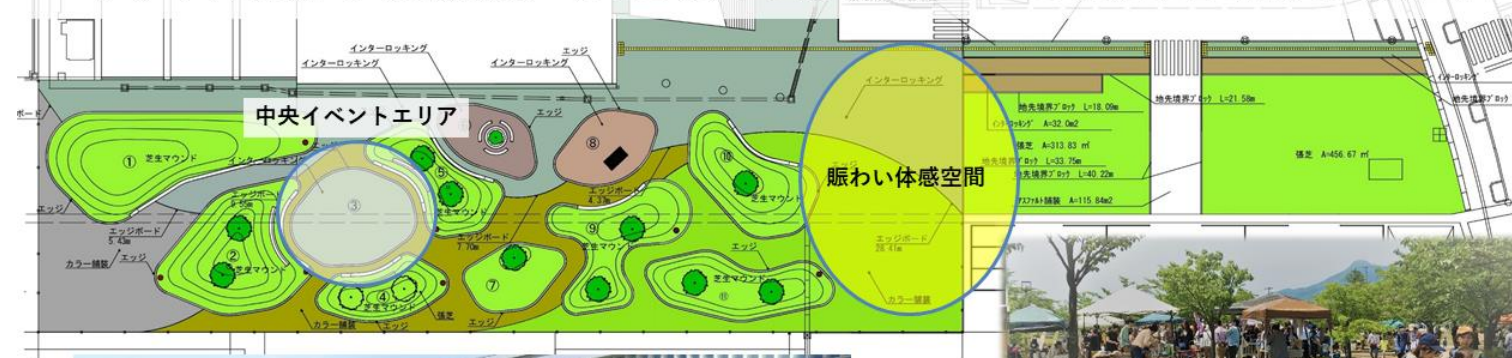
総合アリーナ

公園が見せる風景とひかり輝くアゲハに向けて

日中のおおみなと臨海公園から見える雄大な釜臥山、穏やかな海、開放的な芝生スペースの景観は公園を訪れる方に開放感と安らぎ・活力を与え、改めてむつ市の自然を身近に感じることができます。

夜間はおおみなと臨海公園の光により「ひかりのアゲハ」がさらに輝き、新たな夜景景観を形成します。

人の活動や交流から生まれる賑わいと寛ぎ空間を創出



Park-PFI公園施設 広場イメージ



にぎわいある景観を！

公園中央の広場では、スポーツイベントなどに合わせたマルシェや飲食イベントなどのパフォーマンスを様々な角度から楽しむことができ、人の動きから生まれる交流や賑わいと寛ぎが、おおみなと臨海公園の持つ景観の魅力向上させます。